

高浜市の未来を描く市民会議 会議録			
日 時	令和3年3月27日（土）午後1時～2時		
場 所	高浜市役所 会議棟	傍聴人数	5人
出席者	アドバイザー	坂本 直敏	
	市民会議メンバー	39名	
	行 政	市長 吉岡初浩	
	事務局	企画部長	深谷 直弘
		総合政策グループ	リーダー 榊原雅彦
		同	副主幹 山本久美
		同	主 査 田中 愛
		同	主 任 京極昌彦
		同	主 任 小林春奈
		同	主 任 多武利康
		同	主 事 中村 稔
		同	主 事 嶋本花凜
		(6名出席)	
次 第	1 市長あいさつ 2 市の概要（人口・財政・政策提言 AI シミュレーション） 3 市民会議について 4 お知らせ		

## 1. 市長あいさつ

お忙しい中、皆さんお集まりいただきありがとうございます。高浜市は、本来、来年度総合計画のスタートを切る予定でしたが、コロナの影響で今年度から策定し、再来年以降にスタートすることになりました。総合計画を作るのは、市民の皆さんです。皆さんのお気持ちお考えを汲取りながら作ってまいります。総合計画は作り方が様々です。難しいことをやるのではなく、こんな風になったらいいな、そのためには何が必要なのか、ということをご皆さんに意見していただきたいです。前回の総合計画で考えた将来像、「支え合い 思いやり 手と手をつなぐ 大家族たかはま」は行政で考えたのではなく、市民の方々に考えていただきました。自分の得意なことで地域に関わり、たくさんの人に高浜を知ってもらおうと活動することで、周りを良くし、よりよいまちをつくることができるのではないかと。今日は短い時間ですが、お互いを尊重し、楽しく自分の思い・意見をざっくばらんに言い合い計画を作っていたらと思います。

資 料	資料1：高浜市の未来を描く市民会議 プログラム 資料2：「高浜市の未来を描く市民会議」への提案・質問用紙 資料3：市民会議（第1回）スライド資料
-----	--

## 2. 市の概要

事務局： はじめに、総合計画について説明します。

総合計画とは、大きな時代の変化があっても、ゆるがない、高浜市の目指す姿とそれにむかっていくための手段をまとめたものです。高浜市ではこのような計画を作るときには、行政だけではなく、市民の皆さんとともに作成していくため、市民会議の皆さんに集まってもらっています。

総合計画の構成は、目指すべき将来像とまちづくりの方向性を示す「基本構想」、そのために必要な各分野の方向性を示す「基本計画」、施策の体系に基づき具体的に実施することを明らかにする「アクションプラン」となっています。続きまして、人口について説明していきます。

事務局： 高浜市の人口・世帯数は右肩上がりとなっています。しかし、平均世帯は減少しています。

人口の増減の要因としては、自然増減と社会増減があります。高浜市の人口の増加の理由としては、転入が多いです。しかし、この地域の傾向ですが、社会の景気に人口が連動している。リーマンショックの時も人口の伸びがよくなかったことに加え、令和2年は減少となる予想です。

世帯数について、多様な世帯がまんべんなく増加しているが、高齢者の単身世帯の増加が大きい。今後ますます増加することが予想されます。

また、高浜市は、外国人人口が増加しています。平成29年に外国人技能実習制度が改正されたあたりから急増しました。人口増加とともに世帯の状況や国籍も多様になってきています。

スマートフォンの保有率については約70%アップしています。8年間で10人のうち1人から10人に8人が保有するようになりました。この先10年間の間に高齢者の方もスマートフォンを使いこなす方が多くなると考えられることから、情報の伝え方も変わる可能性があります。

続いては、財政についてです。

事務局： 財政構造の弾力性、経常収支比率という項目があります。

この項目は、毎年決まって入ってくる収入に対して、支払う義務がある支出がどれだけあるかという項目です。割合が高いほど自由に使えるお金が少ないということです。

一つ例をあげますと、毎月の収入が20万円ある家庭で、住宅ローンや食費、光熱費などの固定費が毎月10万円かかる家庭と、固定費が毎月19万円かかる家庭では、自由に使えるお金が変わってくると思います。自由に使えるお金、つまり固定の収入に占める固定の支出が少なければ、家の増改築に向けた積立などをするお金が多くなるということがわかると思います。

では高浜市の数値はといいますと、平成30年度の決算で85.7%と、高い傾向にはありますが、全国平均や類似団体と比べるとまだ数値は低いです。

次に、財政力、財政力指数という項目があります。財政力指数は、税金などの収入がおおよそいくらという見込みの金額を、人口が何人いる、あるいは小中学校は何校あるというような基本的なデータからその自治体の運営におおよそいくら必要かという見込みの金額で割った数字になります。

この項目の数字が大きいほど、毎年必要なお金を自力で調達できるというこ

とです。この数値が1を超えると自力でお金を稼ぐことが出来る、財政が豊かな団体と言われ、国からの補助金がもらえません。高浜市は平成30年度の決算で1.03です。高浜市のように財政力指数が1を超える団体は、国からの補助もなく自力で資金を調達しなければならないため厳しいです。自由に使い道を考えられるお金を得るためには、収入を増やすこと、稼ぐことが重要になってきます。

続いて政策提言 AI シミュレーションについて説明します。

事務局： シミュレーションでは、職員プロジェクトで高浜市の将来に影響を与えるキーワードを1162個出し合い、そこからグループ分けなどを行い、291個のキーワードに絞り込み、そのキーワードに関する20年分のデータを人工智能に読み込ませると合わせて、キーワード同士の関係性も人工智能に読み込ませました。例えば、防犯灯の数が増えると犯罪の数が減る。といったあるキーワードの数字が増減すると関連して別のキーワードの数字も増減するのではないかとといった関係性を職員プロジェクトで考えました。

以上のようなデータをすべて、人工智能に読み込ませ、大体2万通りの高浜市の未来の姿をシミュレーションし、その2万通りのパターンを似たようなもの同士を大きく大別し、6個の未来(2050年)のシナリオを作成しました。

6個のシナリオにはそれぞれ特徴がありますが、まずは2034年、今から13年後に分岐点があるとシミュレーション結果が出ており、その時に出生率が低下してもよいか、それとも出生率を向上させていくかという選択をすることとなります。その選択により2050年の未来の姿が変わってまいります。そうしたことがこの政策提言 AI シミュレーションでは結果として出ています。

この政策提言 AI シミュレーションでは、これまでの高浜市がもっているデータを分析し、2050年に起こりえる未来の姿をシミュレーションしました。どの未来を選択するか、選択した未来に近づくためには、どんな取り組み、キーワードを重要にしていくのか、を人工智能が何万通りものパターンシミュレーションを行い、はじき出したものです。

時間があれば、もう少し細かい内容をお話できるのですが、今回は時間が無いので、さわり程度のお話となります。もし皆さんがもっと聞きたいということありましたら、別の機会を設けてじっくりお話をしても良いかとも思いますので、またそのあたりご意見いただけると幸いです。

事務局： 続きまして、プログラム3 「市民会議について」、まちづくりアドバイザーの坂本さんより、お話いただきます。

坂本アドバイザー： 高浜市の実情は、行政の方から説明があったとおりです。総合計画の策定は1年遅れています。今日は、様々な思いをもって会議に参加してもらっていると思うので各自で紙に書いてみてください。

今まで僕が思いを持って実施してきた地域の活動を紹介します。  
アートポットラック…外国の方が気兼ねなく楽しめるイベント(世界は一つ)  
ブラインドサッカー…子どもたちに困っている人がいたらどんな風な助けが必要か感じてほしい。

今まで様々なイベントを実施してきて、関わる人からの評価は得られるが、広まっていないことに気が付きました。自分と関わりのある人だけでやってもだめで、周りを巻き込んで広めていくことが大切です。

皆さんが、考えたやりたいことを実施するためにどうしたら周りを巻き込めるかを一度考えてください。皆さんの持っている思いを実現することが大切です。

この会議の目標としては、個人の夢をみんなで実現していくこと。さらに10年後の未来のために動いていくことも踏まえて考えていきましょう。そうしていくことで、たくさんの方が考えても足並みがそろっていきます。

具体的にどうしていったら...

- ・犬山市…ひとを育てるため、国語力を伸ばす。子どもたちのためにいい人材を育てたい。移動図書館・優秀な教員を雇う等。
- ・犯罪が多い自治体（アメリカ）…教育が行き届いていなかったため、犯罪が多かった。犯罪を減らすため、15年ほどかかったが、教育に力を入れるため、優秀な教員を送り込んだ。

今後の市民会議で、皆さんには、キャッチフレーズを考えていただきます。そして、全体としてどんなまちにしていきたいかを考えて、行動を起こし、会議に参加していない市民の皆さんに広めていきましょう。簡潔に、お互いの意見を尊重しながら発言することを会議のルールとします。また、どんどん参加してください。目標を実現するために必要な人を誘って参加していただいても大丈夫です。

事務局： 市民会議は毎月第四土曜日に開催予定ですので、お時間がよろしいければ参加してください。次回は、4月24日（土）14：00～です。

夏までにキャッチフレーズ、秋から目標にむかってどう進んでいくかを考えていきます。